中小企業あきた

1 2012 新年賀詞交歓会を開催！ …… 1
2 「農商工連携マーケティングセミナー」を開催 …… 3
3 「中小企業組合と農林漁業者等が連携した活動に関する調査2011」について …… 4
○景況レポート12月分 …… 5
○中小企業組合等支援施策情報 …… 6
○組合相談コーナー …… 6
○話題の広場
中央会事業より …… 7
アラカルト …… 8
新会員紹介／インフォメーション …… 9
組合ティールーム …… 10

2
FEBRUARY
2012

TOPICS 1 2012 新年賀詞交歓会を開催！

【乾杯の様子】

1月30日(月)、秋田キャッスルホテルにおいて、「2012 新年賀詞交歓会」を開催しました。当日は、佐竹秋田県知事、国会議員を始めとする来賓や会員組合など約160名の参加の下、盛大な交歓会となりました。

【挨拶をする塩田会長】

塩田会長は、「昨年は東日本大震災や豪雪など大きな災害に見舞われた年でした。特に、東日本大震災では本県の組合を含む全国の中小企業組合が被災地に真っ先に駆けつけ、精力的に支援活動を展開しました。中小企業は我が国経済を支える重要な存在であり、今回ほど「絆」を感じたことはありません。**今後も中小企業組合は、社会的な責任を果たす重要な存在であることを強く確信し、本会としても、「頼られる中央会」としての使命を果たすため、「強い組合・強い企業づくり」を理念に掲げ、**

皆様方の声を吸い上げながら中小企業組合の活性化に向けて積極果敢にトライチャレンジして行きます。今年は辰年であり、辰（シン）は『植物が芽をなびかせながら盛んに成長する段階』とあります。今年こそは日本の復興とともに景気も回復することを期待します。」と挨拶しました。

引き続き、来賓を代表して、佐竹秋田県知事、鎌田秋田市副市長から祝辞が述べられました。

続いて、鏡開きが行われ、株式会社商工組合中央金庫辻秋田支店長のご発声で乾杯をした後、参加者同士の賀詞交歓が行われ、和やかに新年を祝いました。

秋田県知事
佐竹　敬久氏

秋田市副市長
鎌田　潔氏

【新年賀詞交歓会の様子】

2012 経営トップセミナーを開催！
『どうなる日本～これからの中小企業の生き方～』
経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏

【経営トップセミナーの様子】

新年賀詞交歓会に先立ち、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏を講師に迎え、2012 経営トップセミナーを開催しました。

須田氏は、講演の中で「経済の動きしか見ていないと、先を見誤る。しっかりと政治情勢を見極めることが重要」と持論を展開。今後の中小企業の生き方に関しては、自らの現場取材を通して得た様々な事例を紹介しながら、成功のパターンが述べられました。具体的には、「徹底的なマーケットリサーチによって消費者ニーズに的確に対応していくこと。」が重要であり、また、「過去の成功体験では生きていけない。発想を転換し、現状を把握した中でどのような行動をとるのかが問われる。」など**「常識にとらわれない大胆な発想の転換」**が重要であるとし、これからの中小企業の方向性を示唆する大変有意義な講演となり、200名の参加者は熱心に聴き入っていました。

【講師の須田慎一郎氏】

TOPICS 2 「農商工連携マーケティングセミナー」を開催

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

1月12日(木)、秋田キャッスルホテルにおいて、「農商工連携マーケティングセミナー」を開催しました。本セミナーは、「農商工連携人材育成スクール」のフォローアップ研修として開催し、スクールの受講者をはじめ行政関係者や商工団体、中小企業者等多数の方々が参加しました。

【セミナーの様子】

本セミナーでは、始めに、今回の人材育成スクールを修了した23名に対して修了証の交付式が行われ、本会塩田会長より修了証が授与されました。

続いて、株式会社博報堂企画開発部アカウントディレクターの南部哲弘氏による「マーケティングの着眼点～売れる商品はここが違う～」をテーマに講演が行われ、**南部氏は、自らの支援事例等から「マーケティングは、新たな顧客をつくための技法を探るモノでものである。売れる商品には筋のある物語が必要であり、その物語は、その商品に携わる全ての人、商品を提供する側とそれ購入する顧客側の双方によって作られる。また、広告は、『世間の見方』と『伝え手』の思いをイコールに近づけることが必要である。」**と述べられました。

【本会塩田会長から修了証の授与】

引き続き、「農商工連携に必要な人材とは？」をテーマに、南部氏をコーディネーター、受講者代表4名をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、南部コーディネーターからは、**「質問力が非常に大切。聞くは一時の恥、知らぬは一生の恥。質問力が農商工連携を推進していく上で最も核となる部分である。」**とのアドバイスがありました。

○農商工連携人材育成スクールの実施概要

本会では、平成23年6月～12月までの7ヶ月間に亘り、農商工連携を利用した付加価値の高い産業への脱却を現場から支援できるコーディネーター役や売れる商品づくりを進められる人材の育成を目的に、「農商工連携人材育成スクール」を実施しました。本号では、その概要についてご紹介致します。

【講義研修の様子】

【講義研修】

全8回に亘り、全国の最前線で活躍されている講師陣により、「農商工連携の意義」や「ネットワークの作り方」、「開発用商品のマーケティング」、「セールスプロモーションの基本と技法」等の農商工連携による商品開発の仕方やその後の販売手法について学びました。

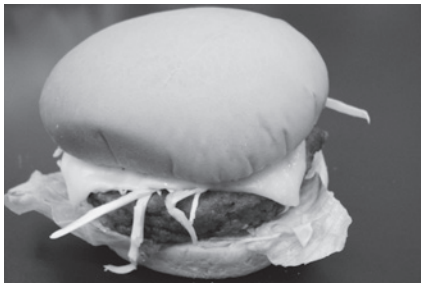
【企業視察の様子】

【実施研修】

県内外の農商工連携事例企業視察(4回)とロールプレイング研修において企画立案した商品についての試作体験(3回)を実施しました。

【ロールプレイング研修】

全7回に亘り、実際の農水産物を活用した新たな商品開発の企画と事業計画の作成を専門家の指導により実施しました。


【試作商品の一例：ハタハタバーガー】

―――◇―――◇―――◇―――◇―――

来年度は、より実践的な研修を実施し、コーディネーターの更なるスキルアップと人材のネットワークを構築し、農商工連携を活用した地域産業の競争力強化に繋げて行くことにしています。

TOPICS 3 「中小企業組合と農林漁業者等が連携した活動に関する調査2011」について

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

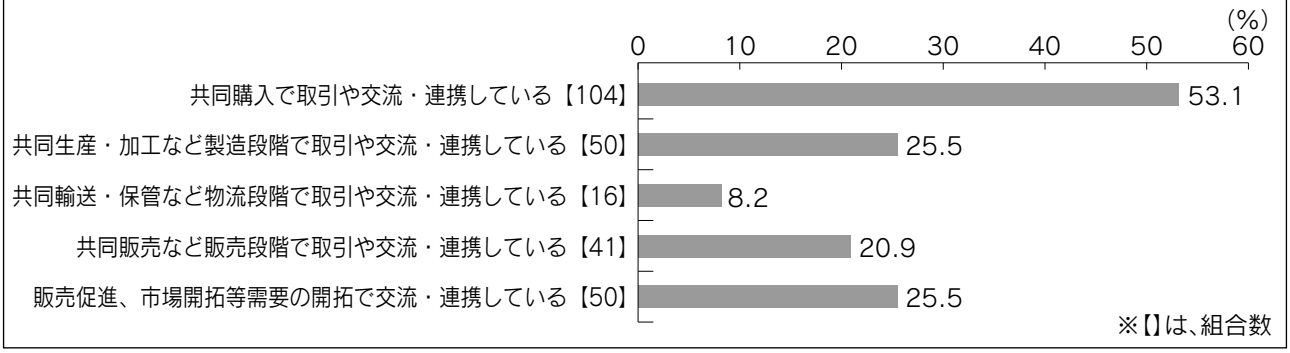
地域中小企業の経営基盤を強化し、新たな事業活動等への積極的な取組みを実現していくためには、中小企業者と農林漁業者とが連携し経営の向上・改善を図る「農商工連携」や農林漁業者が農林水産物等の生産に加えて加工・製造・販売事業の円滑な実施に中小企業者が協力する「六次産業化」を一層推進することが期待されています。

この度、全国中小企業団体中央会では、全国862組合を対象に、中小企業組合と農林漁業者等が連携した活動状況に関する調査を実施しましたので、結果概要から一部をご紹介します。

(1)農商工連携の活動の実施について

組合の事業活動において、「農林漁業者・団体等と交流・連携活動を実施しているか」の設問に対し、「共同購入で取引や交流・連携している」という組合が53.1%と5割を超え、また、「共同生産・加工など製造段階で取引や交流・連携している」・「共同宣伝、販売促進、市場開拓等需要の開拓で交流・連携している」がそれぞれ25.5%となっています。このことから、農商工連携の活動は、原材料の購買・仕入、製造段階、販売段階での取引等での交流・連携が多いことが伺えます。(図－1)

図－1　農商工連携活動の実施について（複数回答）



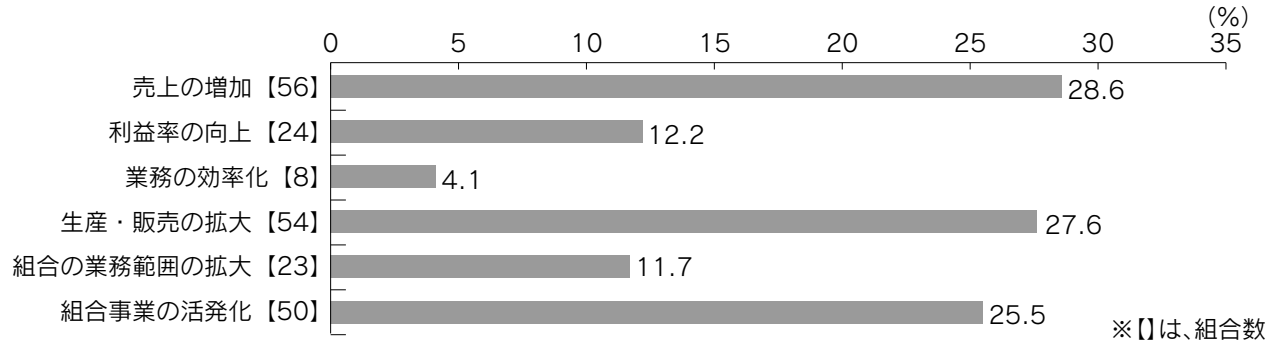
(2)農林漁業者との交流・連携活動の成果と今後の課題について

中小企業組合と農林漁業者との交流・連携活動について、「組合や組合員にどのような成果をもたらしたか」の設問では、「売上の増加」28.6%や「生産・販売の拡大」27.6%、「組合事業の活性化」25.5%が上位となっています。(図－2)

交流・連携活動の具体的な成果については、「産地魚価が約1.5倍～2倍に向上した」や「2年で月商500万までに売上が向上した」等の回答があり、今後の成果が期待されています。

一方、今後の課題については、「域外への販売ルートなどマーケティングが弱い」、「ブランド化に対する戦略を立案できない」、「地域資源の優位性が発見できない」等の回答が多く、販売戦略やブランド化などが今後の課題となっています。

図－2　購入・連携活動の成果について（複数回答）



景況レポート

（12 月分・情報連絡員 80 名）

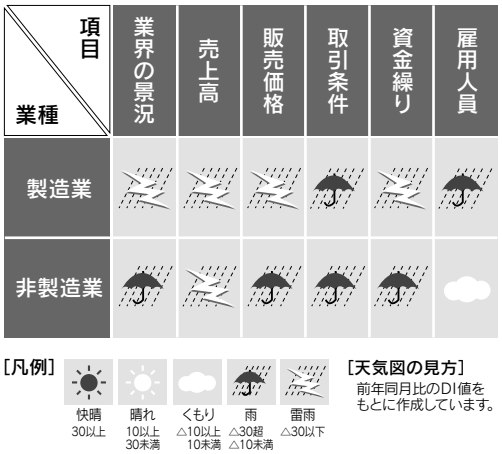
一部業種を除き、依然厳しい状況が続く

【概況】 12月の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが5.0%(前月調査11.3%)、「悪化」が33.8%（同42.5%）で、業界全体のDI値は－28.8となり、前月調査と比較して2.4ポイント上回った。

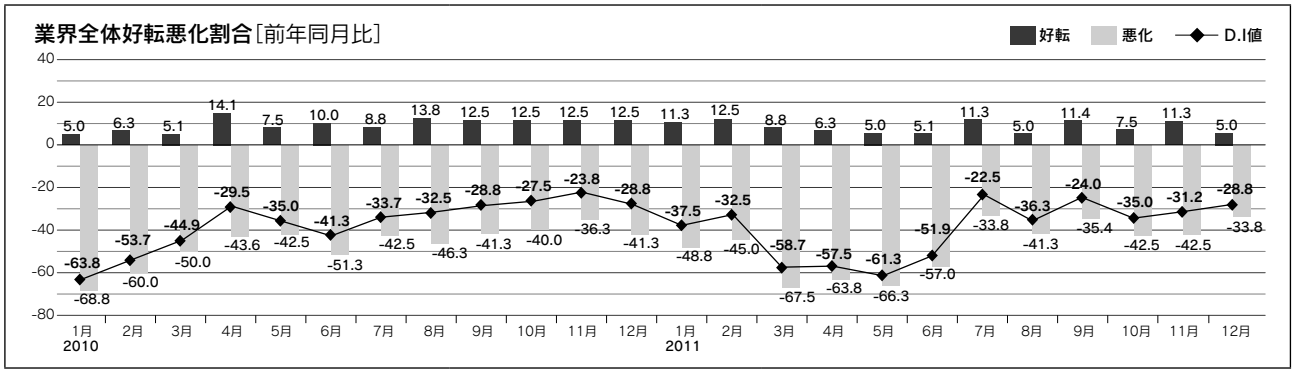
内訳として、製造業全体のDI値は－34.3で前月調査と比較して0.1ポイント上回った。また、非製造業全体は－25.0で前月調査（－29.2）と比較して4.2ポイント上回った。

前年同様とした業界が多い中で、新車販売台数は4 ヶ月連続で前年を上回った。また、法改正前の老人保健施設の駆け込み需要があり、関連業界にとって良い材料となっている。なお、製造業では、食料品の需要が伸びず、冬季に入り県内の住宅建築が一段落したことや、縫製業で品目によって受注が不安定になっていること等により、前年に比べて資金繰りが悪化したとする業界が多い。

（回答数:80名　回答率:100%）



※DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。



業 界 の 声

麺類製造	年末年始に内食や中食が増えたせいか、12月は多少商品に動きが見られたが、まだまだ厳しい状況に変わりはない。
清酒製造	11月の清酒出荷量は、前年同月比96.8%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比113.4%、純米酒が106.9%、本醸造酒が84.2%、レギュラー酒が96.1%という状況である。
繊維製品	本来は春夏物の生産で繁忙となる時期であるが、アパレルメーカーの動きが把握できない状況にある。また、材料のほとんどが海外生産となっており、中国以外からの発送となると更に納期が長くなるため、生産が遅れ、収入がないという悪循環に陥った。
一般製材	製材品は不需要期に入ったため並材の動きは落ち着いてきた。一方、今まで動きが鈍かった役物が被災地での需要を見越して手当てされている。なお、原木の流通量は安定しており、価格は横ばいで推移している。
自動車販売	12月の新車販売台数は、登録自動車が1,469台（前年同月比114.2%）、軽自動車が1,554台（同130.5%）で、合計3,023台（同122.0%）であった。なお、2011年の年間新車販売台数は、登録車が前年比83.7%、軽自動車が同87.8%、全体では85.6%となっている。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり142円で前月比2円引き上げ、軽油1ℓ当たり124円で前月比1円引き上げ、配達灯油は18ℓで1,622円と前月比23円の引き上げとなった。下旬の寒波、降雪により灯油の需要は伸びている反面、ガソリンは苦戦している。
商店街	自宅用として高級な日本酒等が多く売れ、酒類小売店の売上は昨年よりも良かった。(秋田市) 歳末商戦は大型店に客足をとられ、思ったほど売上が伸びなかった。(秋田市) ポイント売上から推測すると、実績は前年同月比横這いで大変厳しい状況である。当市でも国道282号線を軸とした郊外型店舗が林立してきており、気がつくと以前あった店がひっそりと廃業している。(鹿角市)
型枠工事	補助金の駆け込みで老人保健施設が多く発注になり、各地域で一定量の仕事の増加に繋がったと思われる。しかし、今後数ヶ月は徐々に県内の稼働率が下がる傾向が見られ、隣県へのシフトを進めている組合員が多数いる。県外での工事は、諸経費面でも、作業員の健康面でも慎重な対応が必要になるが、秋田県の単価が低いために、県外に向かう企業が増えている。
トラック運送	数量・収入とも前年同月比で10%減少しており、依然として厳しい状態が続いている。荷物の減少により営業所を集約したり車両を減車する組合員もいる。

中小企業組合等支援施策情報

■復旧・復興支援制度データベースの公開について
～利用者視点の制度検索サービスの開始～（経済産業省）

経済産業省は、東日本大震災復興対策本部をはじめ各府省と連携し、復旧・復興支援制度データベースを平成24年１月17日から開始しました。本サービスは、国や地方公共団体等が運用する多種多様な支援制度をワンストップで検索することができるサービスです。

これにより、最新の支援制度情報をこれまでより格段に早く、的確に閲覧することができます。是非ご活用下さい。

復旧・復興支援制度データベース：http://www.r-assistance.go.jp/

■ポジティブ・アクション推進企業やファミリー・フレンドリー企業を表彰します。
（厚生労働省）

厚生労働省では、平成24年度「均等・両立推進企業表彰」の候補となる企業を公募しています。

この制度は、「職場における女性の能力発揮を促進するための積極的な取り組み」（ポジティブ・アクション）及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取り組み」について、他の模範となる取り組みを推進しているような企業を公募し、表彰するものです。

なお、応募期間は、平成24年3月31日まで（消印有効）となっています。

【お問い合わせ先】

秋田労働局雇用均等室　TEL 018-862-6684

詳細につきましては、下記ホームページをご覧下さい。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001y5bf-att/2r9852000001y5gb.pdf

組合相談コーナー　理事会開催の留意点について

Q　組合の決算期が近づき、理事会を開催する機会が多くなってきますが、理事会を開催する際の留意点やポイントを教えて下さい。

A　理事会の開催は、各理事が招集出来ることになっていますが、多くの組合では、定款により理事長が招集権者となっています。

理事会の招集手続きは1週間前まで（定款に規定されている期間）に、各理事に対して通知しなければなりませんが、理事全員の同意があるときは、招集手続きを経ることなく理事会を開催することも可能です。

理事会の議決事項としては、①総会に提出する議案、②その他業務の執行に関する事項で理事会が必要と認める事項等があり、理事の過半数が出席し、その過半数により決議されます。

【理事会の議決事項として考えられる主なもの】

①代表理事の選任
②組合員の加入承認（協業組合は総会付議事項）
③持分の譲渡の承認（協業組合は総会付議事項）
④出資口数の減少の承認
⑤持分払戻しの停止
⑥理事の自己契約の承認
⑦総会または、総代会の招集の決定
⑧総会または、総代会提出議案の決定
⑨総会または、総代会において決定した事業の実行および予算執行細目の決定
⑩顧問・相談役等の委嘱

話題の広場

中央会事業より

新卒者就職応援プロジェクトコーディネート等事業の実施概要について

本会では、昨年度に引き続き「新卒者就職応援プロジェクトコーディネート等事業」を実施しました。

本事業は、大学・高校等の新卒者を対象に、採用意欲のある中小企業の現場等において、実習プログラムに基づき6ヶ月間の職場実習（いわゆるインターンシップ）として行ったものです。

本年度は、本会と秋田県印刷工業組合（大門一平理事長）がコーディネート機関となり、本会が5名（4社）、秋田県印刷工業組合が8名（5社）を受け入れました。研修生は、12月まで受け入れ先企業において実習しました。

【受入企業での実習の様子①】

【受入企業での実習の様子②】

実習が終了した研修生の中には、実習企業に雇用されるなど成果も見られました。

実習生の受け入れを行った企業の経営者からは、**「就職したいという強い意識を持つことが大切であり、当プロジェクトを通じて、少しでも仕事というものを肌で感じて欲しい。また、何事も一人で出来ることはない、実習により、他人とのコミュニケーションやチームワークの大切さを理解して欲しい。」**との声が聞かれました。

また、実習生からは、**「日々、大変勉強になりました。仕事というものの大変さを感じています。受け入れて頂いた企業の方々には、大変親切に対応して頂き、実習を通じて、様々なことを身に付けることができました。」**との声が聞かれました。

第3回高齢化社会対応懇談会を開催

【高齢者懇談会の様子】

1月17日㈫、ホテルメトロポリタン秋田において、「第3回高齢化社会対応懇談会」を開催しました。

懇談会では、株式会社小室経営コンサルタント代表取締役小室秀幸氏をコーディネーターに、「各組合における高齢化社会適応型ビジネスの構築～利用者ニーズとのマッチングについて～」と題し、参加者との意見交換をを行いました。

参加者からは、**「組合に所属する各個店の中には、以前より高齢者を対象とした御用聞きサービスを行っている店舗もあるが、高齢者ビジネスを組合事業として実施するためには、手法や合意形成等の課題がある。」、「懇談会を通じて得られたアドバイス等から、高齢者ビジネスの構築に向けて、組合内部で検討したい。」**等の意見が述

べられ、小室氏からは、**「高齢者ビジネスを構築するためには、利用者ニーズとのマッチングが必要不可欠であり、単なるボランティアではなく、社会貢献ビジネスとして成立するような事業の構築が必要である。」**とのアドバイスがありました。

来年度も引き続き、高齢化社会のニーズに対応できる組合を対象にその組合間連携を図り、現状や課題の整理と安心安全等の社会的要請も満たした高齢者向けサービスのビジネスモデルづくりをテーマに事業を実施する予定です。

第3回地域力パワーアップ事業を開催！

【研修会の様子】

1月23日㈪、ホテルメトロポリタン秋田において、「第3回地域活力パワーアップ事業研修会」を農業生産者や農産物加工グループ等、多数の参加により開催しました。

研修会では、山形県尾花沢市のもとなり本舗企業組合戸津紀行理事長を講師として、「すいか糖を中心とした特産品及びそばのPB商品の開発について」をテーマに講演を行いました。

当組合は、地場産すいかを原料にした『すいか糖』を中心とした特産品やそばのPB商品の開発など地元でとれる農産物を活用した様々な加工品開発・販売に取り組んでおり、組織づくりや商品開発について、苦労話を交えた、講話がありました。戸津理事長は、**「何かをやると必ず何かにぶつかるもの。何かをやって何にもぶつからないということはない。そこのところを克服していかなければならない。それを克服していくためにも人的なネットワークづくりというものが必要になってくる。『誰と組むか』、『どこと組むか』、『何をターゲットに、どのようなストーリーを作り、どんな事業をどういう風に行っていくか』が大切なことだと思う。」**と述べられました。

本会では、今後も引き続き、当事業へ参加した農産加工グループ等の中の希望者を対象に、組織化への働きかけを行っていく予定です。

アラカルト ●a la carte●

■創立50周年記念式典を開催　～秋田県電機商業組合～

【記念式典の様子】

1月19日㈭、秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県電機商業組合（山口道久理事長、322組合員）の創立50周年記念式典及び祝賀会が開催され、堀井啓一秋田県副知事をはじめ、全国電機商業組合連合会永浦貞志副会長等、多数の来賓や組合員等約200名が出席し、節目の年を盛大に祝いました。

山口理事長は、「発足以来ひたすら組合の使命を果たすべく地道な活動を続け今日を迎えることが出来ました。関係皆様方の暖かいご支援とご指導に深く感謝いたします。」と挨拶、来賓祝辞では、堀井啓一秋田県副知事、本会髙橋清悦専務理事等が祝辞を述べました。

また、記念式典では、組合の理事長活動、副理事長活動、永年組合活動にご尽力された方々への表彰式が行われ、感謝状が贈呈されました。

引き続き、記念講演として、秋田お笑い大使の桂三若氏より、「地元の魅力発見！！秋田県聞録」をテーマに講演が行われ、続いて、開催された祝賀会では、秋田県家電流通協議会伊勢和則氏の乾杯の発声により開宴し、終始和やかな雰囲気の中で出席者同士の交流を深めていました。

新会員紹介

■あきた不動産事業協同組合

池田代表理事

【組合の紹介･PR】 競争の激しさが増す不動産業界にあって、インターネットを駆使した情報発信ツールは顧客獲得のために積極的に取り組まなければならない重要な経営資源です。

そこで、情報発信ツールとしてホームページを共同で作成し、各企業のポータルサイト的な運営を行い、個々の企業が管理する建物や空き家、空き地情報等をデータベース化し、所有者からの管理依頼を一元化させ、コストの削減を図ることや、本県における高齢化社会や人口減少等の諸問題に目を向けた新しい不動産業界のビジネスモデルを構築し、消費者へ安心と信頼を提供しながら、支持される業界づくりを目指します。

◆住　　所	秋田市寺内蛭根三丁目1番20号
◆代表理事	池 田　喜代秀
◆出 資 金	870,000円
◆組合員数	31名
◆主な事業	組合員の取り扱う土地及び建物等に関する情報の流通
◆成立年月日	平成24年1月13日

インフォメーション

公立大学法人国際教養大学「東アジア調査研究センター（CEAR）」濱本副センター長が来会

1月25日㈬、公立大学法人国際教養大学濱本良一教授（東アジア調査研究センター副センター長）他4名の専任・兼任教員が来会し、1月24日㈫に開設された『東アジア調査研究センター』の利活用について、本会髙橋専務理事と懇談しました。

当センターは、中嶋嶺雄学長をセンター長とし、東アジア地域との交流拡大に向けた秋田県の地域政策に関するコンサルティングや課題解決に向けた調査研究により、地域経済の活性化を図る目的で開設されました。

濱本副センター長は、「県内経済の活性化のためにも、是非、中小企業の方々に活用して欲しい。」と話されました。

平成23年版「中小企業組合白書」販売のお知らせ　～全国中小企業団体中央会～

全国中小企業団体中央会では、中小企業組合の今後の活動の参考にしていただくため、平成23年版「中小企業組合白書」を編纂しました。

今回の白書では、東日本大震災直後から復旧・復興に向けて活躍している中小企業組合の活動事例のほか、新たな共同事業に取り組む或いは既存の共同事業を見直す際に参考となる活動事例等を紹介しております。是非、お役立て下さい。

〈体裁〉A4判　57頁　　**〈定価〉**1冊　1,200円

【申込み・お問い合わせ】

全国中小企業団体中央会　総務部（TEL 03-3523-4901 ／ FAX 03-3523-4909）

◆「中小企業あきた」年間広告募集のお知らせ◆

本会機関誌「中小企業あきた」**平成24年度分の掲載広告を募集**しております。
掲載をご希望、または詳細をお知りになりたい方は、下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】秋田県中小企業団体中央会　調査広報課　TEL 018-863-8701

組合ティールーム

秋田県農業機械商業協同組合
理事長　白　石　光　弘さん

◎理事長としての抱負

組合として、「35組合員の健全経営を目指すことを第一」に考えています。そのために、必要なことを組合事業を通じ、組合員に対して可能な限り、支援を行っています。

また、一般ユーザーの皆様に、農業機械を安全に安心してご利用して頂くため、組合員を通じた啓蒙活動にも積極的に取り組んでいます。

これからも、組合員の力になれる組合として、全力を尽くして行きたいと思います。

◎業界からの要望について

地方自治体の入札制度は、地元企業へ発注するような仕組みに改善されつつありますが、県外企業への発注も散見されます。

入札要件を地元企業に限定するような制度の導入を望みます。

◎心掛けていることについて

企業経営者として心掛けていることは、「第一にお客様の満足度の向上」、「第二に会社の継続」、「第三に社員の幸せ」です。お客様へ高付加価値のサービスを提供することにより、リピート率の増加を図り、継続のための収益を確保し、社員には、その成果を配分するということを心掛けています。また、技術の継承のため、人材育成にも力を入れています。

◎趣味について

趣味は、「ゴルフ」・「庭いじり」・「錦鯉」です。ゴルフは、始めてから30年以上になりますが、健康づくりという意味もあり楽しみながらプレーをしています。庭いじりは、気分転換に最適で、当社の敷地内でも「さつき」を育てています。錦鯉は、飼い始めてから30年以上になり、今では70㎝を超える大物もいます。

ネットなら便利！24時間

確定申告

●確定申告書等作成コーナーは24時間申告書の作成が可能です

●e-Taxなら平成24年1月16日(月)～3月15日(木)まで24時間申告が可能です（メンテナンス時間を除きます）

※ 作成した申告書は印刷して郵送等でも提出できます

www.nta.go.jp　確定申告　検索

e-Taxの準備はお早めに！
申告と納税は期限内に！

所得税
2月16日(木)～3月15日(木)

贈与税
2月1日(水)～3月15日(木)

消費税・地方消費税(個人事業者)
1月4日(水)～4月2日(月)

納税は便利な振替納税で！

振替日(振替納税の場合)
申告所得税 4月20日(金)
消費税・地方消費税(個人事業者) 4月25日(水)

を準備して、e-Taxで所得税の確定申告をすると、

最高4,000円の税額控除
国税庁ホームページから電子申告
添付書類の提出省略
還付がスピーディー

e-Tax・作成コーナー ヘルプデスク　☎0570-015901

税務署

秋田流通サービス事業協同組合

㈱出羽運輸	里見運送㈲	合資会社塩喜運送
秋田第一貨物自動車㈱	千歳運送㈲	㈲丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送㈱	㈱秋田おばこ運輸	姉崎商運㈱
㈱三ウラ産業	㈱仙建	豊幸商事運輸㈲
日通横手運輸㈱	㈲藤原運送	横手運送㈱
大曲小型貨物自動車運送㈱	角間川運送㈱	田沢湖運送㈱
十文字運送㈱	エコー運輸㈱	湯沢運送㈱
川連運送㈱	㈱岡部興業	㈲北國急行

※順不同

〒013-0001　秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561　FAX 0182-33-1299

おかげさまで創業130年 130th ANNIVERSARY

東北オンリーワンの総合物流サービス企業

YOKOUN

横手運送株式会社

経営理念：総合物流事業を通じて地域社会に貢献します

〒013-0072 秋田県横手市卸町８番 14 号　TEL.0182-32-3667　FAX.0182-32-5672
http://www.yokoun.co.jp/

官公需適格組合
『カ デ ル』

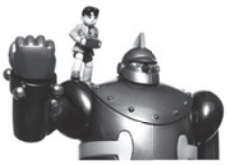
秋田管工事業協同組合

理事長　髙橋正男
副理事長　宮崎真吾
〃　本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161／FAX 018(824)5685

秋田県信用保証協会にご相談下さい！

公的保証人として、国・県・市町村のバックアップにより、低利の事業資金が調達出来る保証制度を多数用意しておりますので、お気軽にご相談下さい。



©光プロダクション

□本所（秋田県商工会館内）	TEL 018(863)9011
□秋田事業部	TEL 018(863)9017
□大館支所	TEL 0186(49)2281
□能代支所	TEL 0185(54)2377
□本荘支所	TEL 0184(22)5330
□大曲支所	TEL 0187(63)1181
□横手・湯沢支所	TEL 0182(32)2361

秋田県信用保証協会

秋田キャッスルホテル

進化と深化。

Akita Castle Hotel

秋田市中通一丁目3-5 Tel:018(834)1141　www.castle-hotel.jp

“企業の挑戦を応援します”

株式会社 北日本リース

考えてみませんか？経営の次にあるもの…
設備資金・生命保険・損害保険・資産形成・相続・事業承継等
ご相談をお気軽にどうぞ！！

秋田市高陽幸町8-17　TEL 018（883）1888
FAX 018（883）1822
E-mail：njl@cna.ne.jp
ホームページ：http://www.njl.jp/

Kubota
For Earth, For Life

農業機械のことならクボタにおまかせ下さい。

クボタパワクロトラクタ

クボタ乗用田植機

クボタコンバイン

まごころと技術でこたえる・・・
株式会社 秋田クボタ
〒011-0901　秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel:018-845-2121　Fax:018-845-6600

中央会共済制度 オーナーズプランⅣ型

ステイタスM

無配当低解約返戻金型定期保険

BESTパートナー 三井生命

1 15年以上の保障準備とその後の資産づくりを両立
・バランスの良いプランニングが魅力です。

2 2段階の低解約返戻金期間の設定で割安な保険料と確かな保障
・割安な保険料で98歳までの長期にわたる保障をご用意いただけます。

3 各種制度を利用して「年金としてのお受け取り」「保障の終身化」が可能
・死亡・高度障害保険金の全部を原資として、年金で受け取ることができます。＜ご契約者が法人の場合＞
・解約返戻金の全部または一部を原資として、年金で受け取ることができます。＜ご契約者が法人でも個人でも＞
・保険料のお払い込みを中止し、一生涯保障が続く払済終身保険に変更できます。＜ご契約者が法人でも個人でも＞

※商品内容の詳細は「ステイタスーM商品パンフレット」「ご契約のしおりー約款」「設計書（契約概要）」「特に重要な事項のご説明（注意喚起情報）」を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社　〒100-8123 東京都千代田区大手町2-1-1 TEL.03(6831)8000(代表) http://www.mitsui-seimei.co.jp/

C-21-0312(H22.1)

〔中央会共済制度引受会社〕
三井生命保険株式会社

従業員の退職金のご準備に 特定退職金共済制度

〔中央会共済制度のお問い合わせ先は〕
秋田支社　〒010-0921 秋田市大町1丁目3番8号

秋田営業部 TEL 018(863)1626　大曲営業部 TEL 0187(62)1337　大館営業部 TEL 0186(49)2459
本荘営業部 TEL 0184(23)2950　湯沢営業部 TEL 0183(72)3230　能代営業部 TEL 0185(54)2520

1874年（明治7年）2月2日創刊

秋田魁新報

本社／秋田市山王臨海町1-1 TEL018・888・1800
http://www.sakigake.jp/

2012 2 Feb

中小企業あきた
平成24年2月1日発行（毎月1日発行）第621号
発 行/秋田県中小企業団体中央会　〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47　☎ 018-863-8701　FAX 018-865-1009　印 刷/秋田活版印刷(株)　定価280円